

都市再生整備計画(第4回変更)

いぬやまじょうかまち ちく
犬山城下町地区

あい ちけん いぬやまし
愛知県 犬山市

平成30年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	犬山市	地区名	犬山城下町地区	面積	180 ha
計画期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度	交付期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度				

目標

国宝犬山城を中心とした歴史観光まちづくりによる、犬山市街地の活力向上を推進

目標1:市民・観光客が交流するまちづくりを実現

目標2:安心・快適な歴史観光まちづくりを実現

目標3:市民(民間)が主役となる賑わいまちづくりを実現

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・本地区は、国宝犬山城、如庵他、多くの登録有形文化財、歴史的建造物が現存するとともに、370余年もの長い年月の間、町衆らにより守り伝えられてきた犬山祭の祭礼儀式（重要無形民俗文化財）を代表として、市民活動と一体となった歴史的風致が受け継がれており、本市の歴史・伝統・文化を象徴する地区である。

・この城下町地区では、前述した歴史的資源を活かしたまちづくりを進めるため、平成16年度～平成20年度にまちづくり交付金事業を活用して、現道幅員まで見直しを行った都市計画道路の電線類の無電柱化、景観に配慮した美装化などのハード事業や住民と協働した賑わいのあるまちづくりに必要なソフト事業を一体的に実施した。

・また、平成21年3月11日には、歴史まちづくり法に基づく「犬山市歴史的風致維持向上計画」の認定を受け、犬山城下町の更なる歴史的風致の維持および向上の取組みを推進している。

・上記の取組みにより、城下町の観光客は増加している。今後、生活環境の向上を図りながら市民と観光客が交流できる環境を整備し、観光客の来訪回数や滞在時間を増加させる取組みを実施することにより、持続性のある歴史観光まちづくりを進めることが求められる。

課題

・犬山城下町への来訪者の維持、増加を図るため、既存の観光資源に加え、市民・観光客の交流の促進等による、新たな魅力向上が必要であり、そのためには内田観光駐車場整備、丸の内多目的公衆便所整備等が求められる。

・南海トラフ巨大地震など、地震災害リスクやゲリラ豪雨の増加などの水害リスクに対応するため、歴史・観光を多く有する本地区では地域住民のみならず来訪者が安心して訪れることができるよう地域防災性の向上を図ることが必要であり、そのためには内田多目的広場整備や市道犬山31号線の道路整備等が求められる。

・公共施設整備など街並み整備の進展に伴い、住民主導によるまちづくりが全体的に進んでいるが、南部における活動があまり活発ではないことから、更なる市民（民間）主導の賑わいまちづくりが必要であり、新たな地区の活性化のための公共施設整備
として観光安全かつ効果的に誘導するための交通誘導サイン設置等が求められる。

将来ビジョン(中長期)

【第5次犬山市総合計画】

・基本施策「歴史・文化」一城下町地区の整備

・基本施策「観光」—観光資源の整備・充実

・基本施策「市街地・景観」—地域特性を活かした景観づくり

【犬山市都市計画マスタープラン】

・楽しく歩ける安全・安心なまち

・地域の歴史・文化や人のつながりが守られみんなが訪れたいくなるまち

・玄關日にふさわしいにぎわいと新たな活力が生まれるまち

【犬山市歷史的風致維持向上計畫】

・基本方針:「まちづくりと連携した歴史的施設及び公共施設の保全」「市民意識の向上と、歴史文化を継承する担い手の育成」「文化施設の充実」

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
観光客の城下町への再来訪意向	%	城下町来訪者へのアンケート調査に基づく再来訪意向の割合	観光客の来訪回数を増やすことで、市民・観光客との交流機会を増加する。	59.6%	平成26年度	61.6%	平成30年度
災害対策満足度	%	災害対策に関する市民アンケートに基づく満足度	災害対策に関する満足度を向上することで、安心、快適な歴史観光まちづくりを推進する。	15%	平成26年度	25%	平成30年度
市民活動への参加希望割合	%	市民活動に関する市民アンケートに基づく参加希望割合	市民活動への参加意欲を向上することで、市民が主役の歴史観光まちづくりを推進する。	61%	平成26年度	65%	平成30年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
【市民・観光客が交流するまちづくりを実現】 ・市民・観光客の交流を促すため、交流施設、市民活動支援を行い市街地の活力向上を図る。 【安心・快適な歴史観光まちづくりを実現】 ・観光客の方々に安全で快適に過ごしていただくため、多目的広場の整備、観光駐車場の整備、アクセス向上のための道路等交通関連施設の整備を行い、市街地の活力向上を図る。 【市民(民間)が主役となる賑わいまちづくりを実現】 ・市民(民間)主導でまちの賑わいを創出するための環境整備として、交通誘導サインをはじめとする施設整備を行い、市街地の活力向上を図る。		■基幹事業 ・地域生活基盤施設(広場):内田多目的広場整備事業 ・地域生活基盤施設(広場):体育館跡地広場整備事業 ・地域生活基盤施設(駐車場):内田観光駐車場整備事業 ・地域生活基盤施設(情報板):交通誘導サイン設置事業 ○関連事業 ・効果促進事業:事業効果分析調査 ・城前観光駐車場再整備事業 ・犬山口線道路美化事業 ・(仮称)祭り会館整備事業
		■基幹事業 ・道路:道路改良事業(市道犬山31号線外1路線) ・地域生活基盤施設(広場):内田多目的広場整備事業 ・地域生活基盤施設(広場):体育館跡地広場整備事業 ・地域生活基盤施設(駐車場):内田観光駐車場整備事業 ・地域生活基盤施設(情報板):交通誘導サイン設置事業 ・高質空間形成施設(歩行者支援施設):丸の内多目的公衆便所整備事業 ○関連事業 ・内田西排水区排水対策事業 ・犬山口駅前広場等整備事業 ・防災公園街区整備事業:犬山城下町地区防災公園街区整備事業 ・効果促進事業:五郎丸排水区排水対策事業 ・効果促進事業:東之宮古墳保存整備事業 ・効果促進事業:事業効果分析調査 ・消防署北出張所整備事業 ・城前観光駐車場再整備事業
		■基幹事業 ・地域生活基盤施設(情報板):交通誘導サイン設置事業 ○関連事業 ・犬山口駅前広場等整備事業 ・効果促進事業:事業効果分析調査 ・犬山口通線道路美化事業
その他 ○交付期間中における円滑な事業進捗と目標に向けた効果を上げるために、庁内の関連部署だけでなくまちづくりの担い手であるまちづくり団体等と連携を図り、計画の作成(P)、事業実施方法(D)、進捗状況の検証(C)、更なる改善方策の検討(A)を実施する。		

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	961	交付限度額	432.4	国費率	0.45
---------	-----	-------	-------	-----	------

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費	費用便益比 B／C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
道路		道路改良事業(市道大山31号線外1路線)	大山市	直	300m	平成26年度	平成28年度	平成26年度	平成28年度	319	319	319		319	-
公園															
古都及び緑地保全事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設(広場)		内田多目的広場整備事業	大山市	直	10,142㎡	平成26年度	平成29年度	平成26年度	平成29年度	456	456	456		456	-
地域生活基盤施設(広場)		体育館跡地広場整備事業	大山市	直	3,884㎡	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度	84	84	84		84	-
地域生活基盤施設(駐車場)		内田観光駐車場整備事業	大山市	直	5,084㎡	平成26年度	平成29年度	平成26年度	平成29年度	280	280	280		280	-
地域生活基盤施設(情報板)		交通誘導サイン設置事業	大山市	直	4箇所	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度	12	12	12		12	-
高質空間形成施設(歩行者支援施設)		丸の内多目的公衆便所整備事業	大山市	直	45㎡	平成29年度	平成29年度	平成29年度	平成29年度	20	20	20		20	-
地方都市リノベーション推進施設															
生活拠点施設															
既存建造物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
地区再開発事業															
バリアフリー環境整備促進事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型														
	沿道等整備型														
	密集住宅市街地整備型														
	耐震改修促進型														
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										1171	1171	1171	0	961	0.0

...A

提案事業															17/1	17/1	17/1	0	301
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費					
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度										
地域創造支援事業																			
事業活用調査																			
まちづくり活動推進事業																			
合計										0	0	0	0	0					
													合計(A+B)	961					

...B

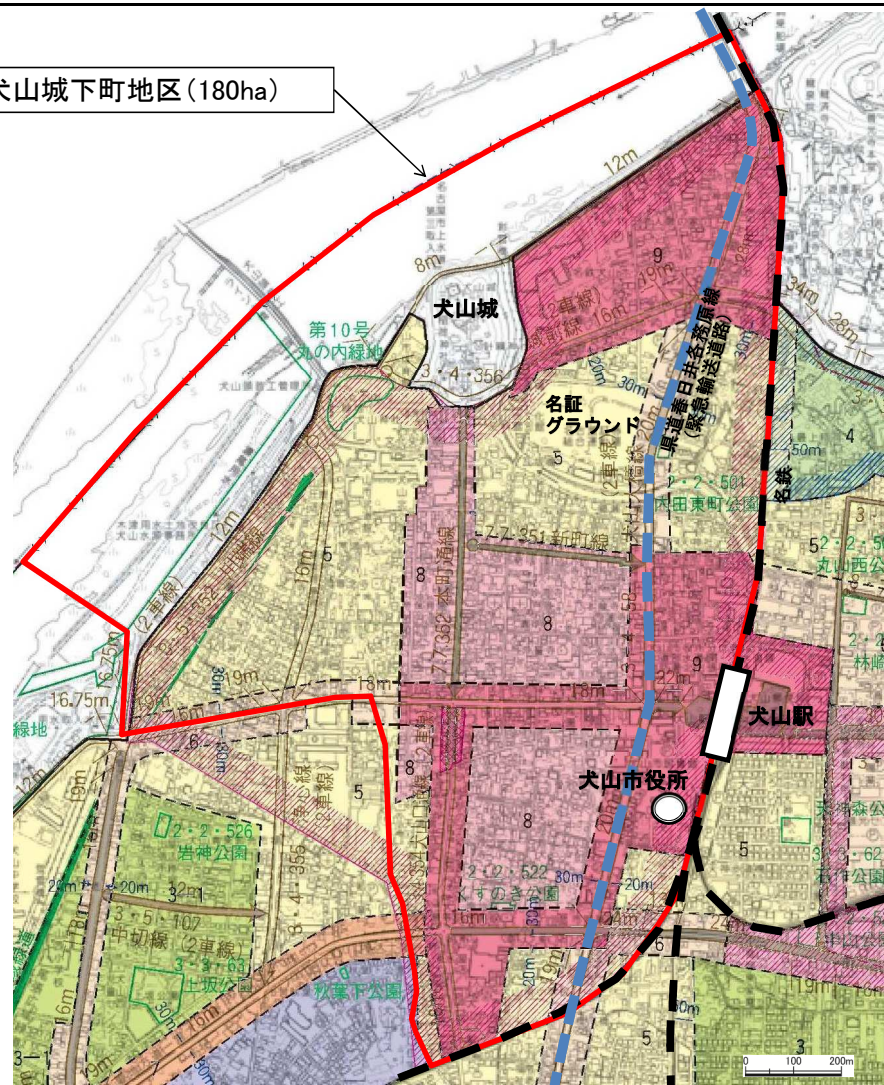
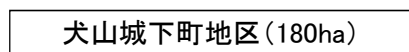
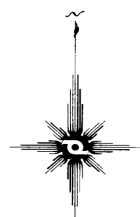
合計(A+B)	961
---------	-----

[illegible]

都市再生整備計画の区域

犬山城下町地区(愛知県犬山市)	面積	180 ha	区域	大字犬山字大門先、西大門先、西畑、寺畑、中道、御門先、内田東町、東山下、身打田、三反田、堀ノ内、藪下、東余坂、富士見町、高見町、北古谷、東古谷、木ノ下、愛宕、薬師町、専正寺町、柳町、四日市の全部 大字犬山字寺下、西平、山寺、天王坂、東小島、 太白、西林崎、東畑、薬師、神ノ木、末友、上り屋、北首塚、南古谷、西古谷の一部
-----------------	----	--------	----	---

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



計 画 区 域

犬山城下町周辺地区

(都市再生整備計画区域)

犬山市歷史的風致維持向上計畫

(重点区域)

犬山城下町地区(愛知県犬山市) 整備方針概要図

目標	国宝犬山城を中心とした歴史観光まちづくりによる、犬山市街地の活力向上を推進	代表的な指標	観光客の城下町への再来訪意向 (%)	59.6%	(26年度)	→	61.6%	(30年度)
			災害対策満足度 (%)	15%	(26年度)	→	25%	(30年度)
			市民活動への参加希望割合 (%)	61%	(26年度)	→	65%	(30年度)

犬山駅を中心に、半径1km以内に
都市機能・観光資源が集積

■基幹事業：高質空間形成施設（歩行者支援施設）
丸の内多目的公衆便所整備事業

○関連事業：効果促進事業
事業効果分析調査
交通誘導サイン設置事業

□関連事業
城前観光案内所整備事業

■基幹事業：地域生活基盤施設（広場）
体育館跡地広場整備事業

○関連事業
城前観光駐車場再整備事業

○関連事業
（仮称）祭り会館整備事業

■基幹事業：
地域生活基盤施設（情報板）
交通誘導サイン設置事業

□関連事業：効果促進事業
交通誘導サイン設置事業

□関連事業：効果促進事業
五郎丸排水区排水路対策事業

計画区域

犬山城下町周辺地区
（都市再生整備計画区域）

犬山市歴史的風致維持向上計画
（重点区域）



国宝茶室 如庵



鵜飼乗り場

○関連事業：効果促進事業
東之宮古墳保存整備事業

■基幹事業：地域生活基盤施設（広場）
内田多目的広場整備事業

■基幹事業：地域生活基盤施設（駐車場）
内田観光駐車場整備事業

○関連事業
防災公園街区整備事業
消防署北出張所整備事業
内田西排水区排水対策事業

■基幹事業：道路
道路改良事業（市道犬山31号線外1路線）

凡例

■ 基幹事業

□ 関連事業

凡例

■ 内堀・外堀

■ 名勝木曾川

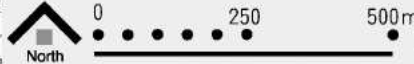
■ 犬山祭運行経路（車山・練り物・神輿）

■ 景観計画による高さ規制の範囲（犬山城周辺地域）

■ 城下町ゾーン（13m）

■ 駅前・商業ゾーン（31m）

■ 木曾川河畔ゾーン（20m）



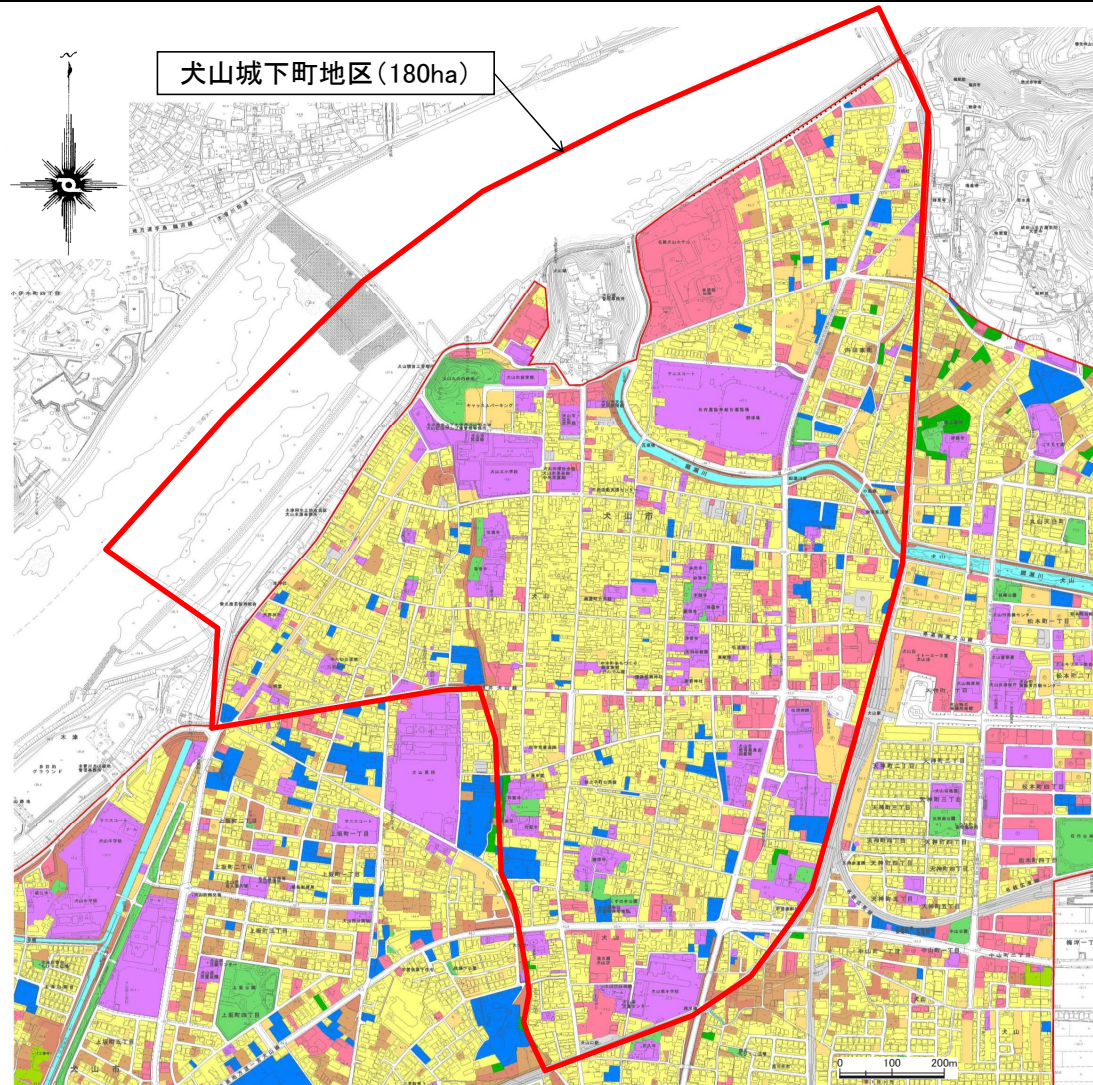
都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

いぬやま じょうかまち ちく
犬山城下町地区

あいちけん いぬやまし
(愛知県犬山市)

犬山城下町地区(愛知県犬山市) 現況図



凡	例
田	
畑	
山 林	
水 面	
その他の自然地	
住宅用地	
商業用地	
工業用地	
公共施設用地	
道路用地	
交通施設用地	
公共空地	
その他の空地	
市街化区域	

要綱第5に掲げる式による交付限度額(X)	432.4 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	230,705.0 百万円	X ≤ Yゆえ、	本計画における交付限度額	432.4 百万円
----------------------	-----------	-----------------------	---------------	----------	--------------	-----------

Au	810,000 m²
----	------------

CI	714,450	¥/m ²
----	---------	------------------

Cf	23,000	円/m ²
----	--------	------------------

交付対象事業費	基幹事業(A)	961	百万円
	提案事業(B)	0	百万円
	合計	961	百万円

Au	810,000 m ²	Ap	193600 m ²
----	------------------------	----	-----------------------

公示価格の平均値(円/㎡)	80,850	Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1)	227282 百万円
---------------	--------	----------------------	------------

			河川	0	円
			河川整備延長(m)		
合計	0	0	標準整備費(円/m)	3,700,000	

交付対象事業費	基幹事業(A)	961	百万円	[1]式	$\alpha 1=4(A+B)/5=$	769
	提案事業(B)	0	百万円	[2]式	$\alpha 2=10A/9=$	1,068
	合計	961	百万円	交付限度額(X)		432.4 百万円

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2)	230705 百万円
---------------------	------------

交付限度額算定表(その2)

犬山城下町地区(愛知県犬山市)

交付要綱第5に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(百万円単位) 単位:百万円

○交付対象事業費(必ず入力) (百万円) (百万円)

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	961.000	A (事業費)	⇒ 1)式で求まる額(4/10*(A+B))	384.400	① (国費)
	提案事業合計(B)	0.000	B (事業費)	⇒ 2)式で求まる額(5/9*A)	533.889	② (国費)
	合計(A+B)	961.000	(事業費)	⇒ 上記①、②の小さい方	384.400	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.000		⇒ 国費率(③÷(A+B))	0.400	④ (国費率)

○拡充の有無

以下の3つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を記入し、事業費等を入力。

・3)式の適用[提案事業2割拡充]		(選択)	⇒ 3)式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
・平成20年度二次補正予算の執行		(選択)	⇒ 3)式の適用後(適用がある場合は3式反映)	384.400	⑥ (国費)
・4)式の適用[中活等の45%拡充]	○	(選択)	⇒ 3)式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.400	⑦ (国費率)

○拡充がある場合の事業費等

平成20年度二次補正の執行がある場合及び4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

平成20年度二次補正の執行がある場合	防災対象事業(A')		A' (事業費)	⇒ ③をA'に置き換えた額(A⇒(A-A')+9/8*A')	384.400	⑧ (国費)
	補正予算の執行額		(国費)	⇒ 執行額を足した額	384.400	⑨ (国費)
				⇒ 補正適用後(上記⑧、⑨の小さい方)	384.400	⑩ (国費)
				⇒ 補正適用後の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑪ (国費率)

4)式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費(F)	0.000	F (事業費)	⇒ 適用前の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑫ (国費率)
	適用対象となる交付対象事業費(A''+B'')	961.000	(事業費)	⇒ 適用対象事業費から求まる限度額	432.450	⑬ (国費)
	適用対象となる基幹事業合計(A'')	961.000	A'' (事業費)	⇒ 適用後の国費率(⑬÷(A''+B''))	0.450	⑭ (国費率)
	適用対象となる提案事業合計(B'')	0.000	B'' (事業費)	⇒ 4)式適用後の限度額(⑫×F+⑭×H)	432.450	⑮ (国費)
	適用対象事業のうち翌年度以降の執行事業費(H)	961.000	H (事業費)			

※4)式の適用を受ける場合で、経過措置を適用しない場合(H21以降新規地区)は、Fの欄を記入せず、A''、B''を記入し、A''=A、B''=B、H=A''+B''=A+Bとなる。

↓

拡充も考慮した交付限度額	432.450	⑯ (国費)
--------------	---------	--------

○交付限度額、国費率の算出

交付対象事業費(A+B)	961.0	(事業費)	⇒ 交付要綱第5に基づく交付限度額(⑯を1万円の位を切り捨て)	432.4	⑰ (国費)
			⇒ 国費率	0.450	⑱ (国費率)

様式8 年次計画

(事業費:百万円)

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
道路		道路改良事業(市道犬山31号線外1路線)	犬山市	319	38	151	130		
公園									
古都及び緑地保全事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設(広場)		内田多目的広場整備事業	犬山市	456	4	337	49	66	
地域生活基盤施設(広場)		体育館跡地広場整備事業	犬山市	84				64	20
地域生活基盤施設(駐車場)		内田観光駐車場整備事業	犬山市	70	2		42	26	
地域生活基盤施設(情報板)		交通誘導サイン設置事業	犬山市	12				7	5
高質空間形成施設(歩行者支援施設)		丸の内多目的公衆便所整備事業	犬山市	20				20	
中心拠点誘導施設									
連携生活拠点誘導施設									
生活拠点誘導施設									
高齢者交流拠点誘導施設									
既存建造物活用事業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型								
	沿道等整備型								
	密集住宅市街地整備型								
	耐震改修促進型								
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									
計				961	44	488	221	183	25

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
地域創造 支援事業									
事業活用 調査									
まちづくり活 動推進事業									
計				0	0	0	0	0	0
合計				961	44	488	221	183	25
累計進捗率 (%)					4.6%	55.4%	78.4%	97.4%	100.0%

(参考)都市機能立地支援関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
合計			0	0	0	0	0	0
累計進捗率 (%)				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

地域生活基盤施設

単位:百万円

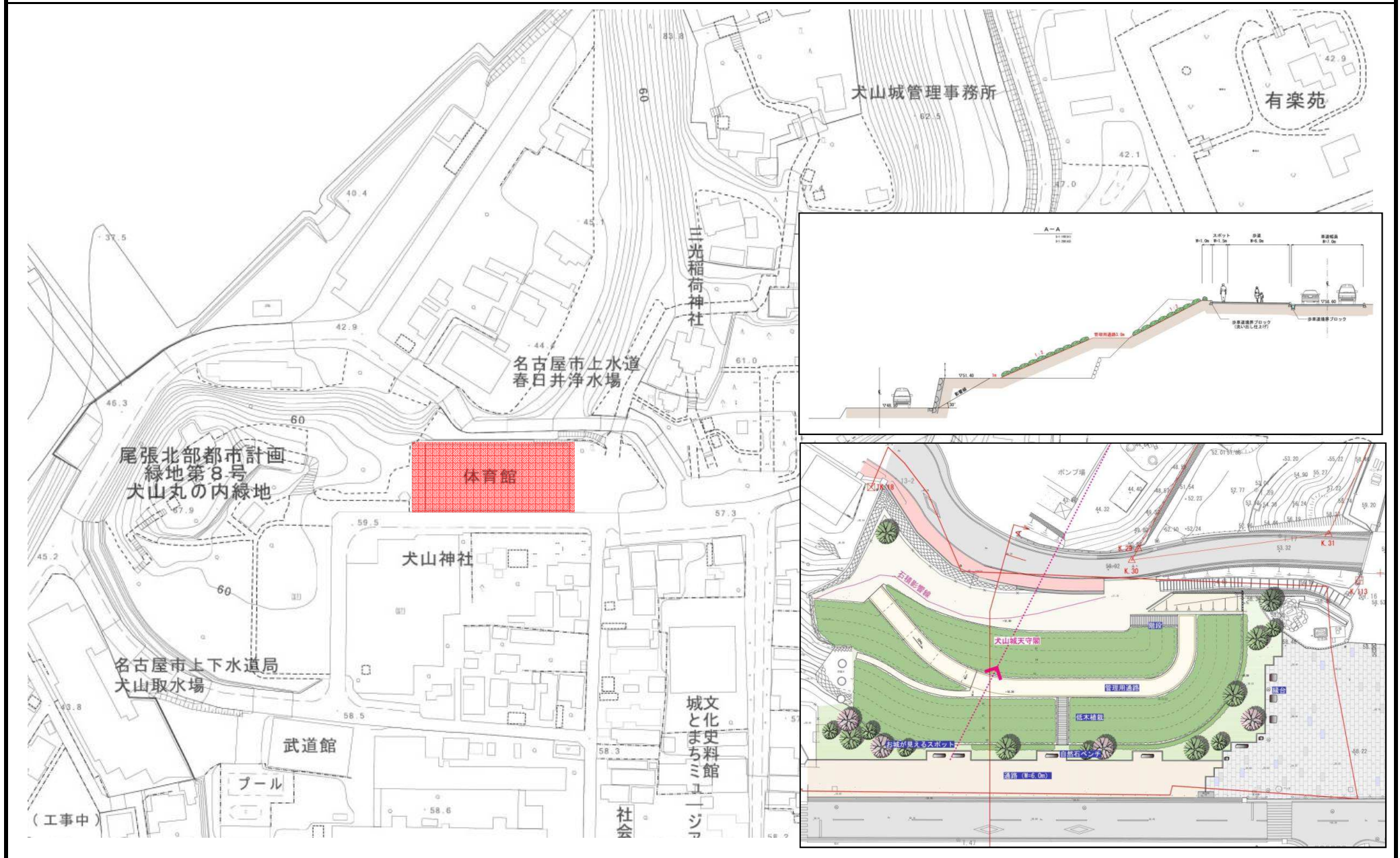
交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳				備考
					設計費	用地費	施設整備費	うち購入費	
緑地								—	
広場	内田多目的広場整備事業	犬山市	10,142㎡(休憩施設含む)	456	4	337	115	—	
広場	体育館跡地広場整備事業	犬山市	3,884㎡	84			84	—	
駐車場	内田観光駐車場整備事業	犬山市	5,084㎡	70	2	42	26		全体事業費280百万円 設計費:8百万円 用地費:168百万円 施設整備費:104百万円 の1/4を計上
自転車駐車場									
荷物共同集配施設									
公開空地								—	
情報板	交通誘導サイン設置事業	犬山市	4箇所	12			12	—	
地域防災施設	施設種別:								
人工地盤								—	
合計	—	—	—	622	6	379	237		

- ・施設名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。
- ・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)
- ・「駐車場」、「自転車駐車場」については、「概要」欄に、形式(立体〇層、タワーパーキング、地下駐輪場等)、面積及び駐車台数を記入。
- ・駐車場については、「備考」欄に駐車場全体の整備に要する費用を記入。
- ・自転車駐車場については、「備考」欄に都市計画決定の有無、自転車駐車施設整備計画における位置づけの有無、自転車駐車場に関する附置義務条例等における位置づけの有無を記入すること。
- ・地域防災施設の「施設名」欄には、耐水性貯水槽、備蓄倉庫、放送施設、情報通信施設、発電施設、排水再利用施設、避難空間等の施設の種別を記入。
- ・共同駐車場については、別の所定のシートに記載すること。

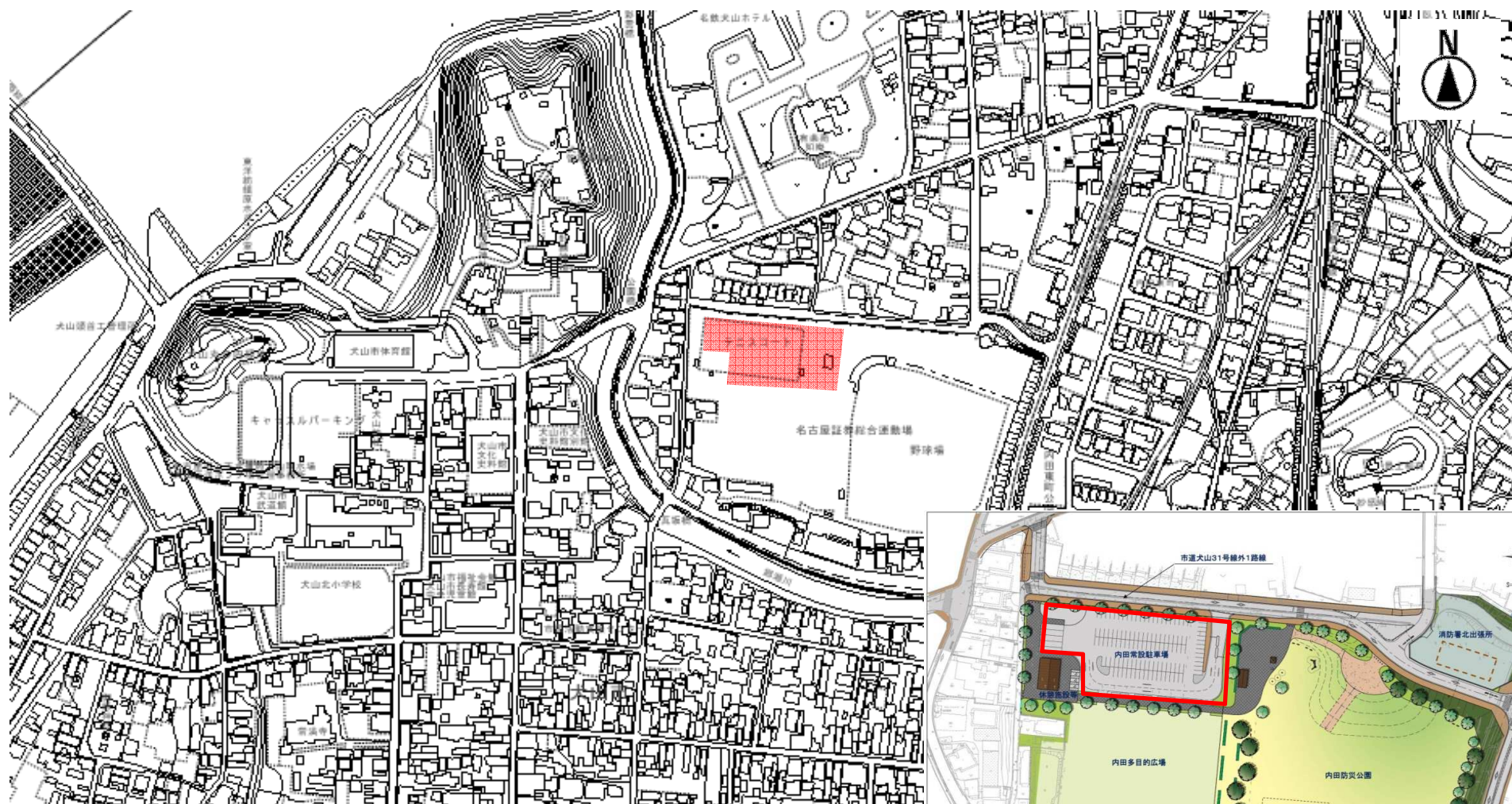
内田多目的広場整備事業



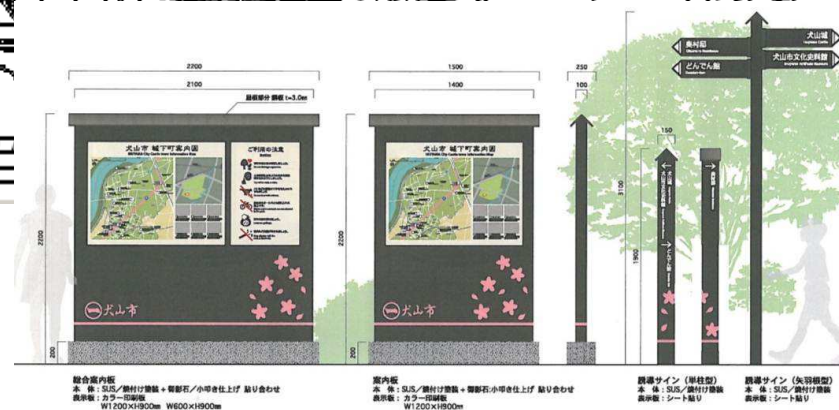
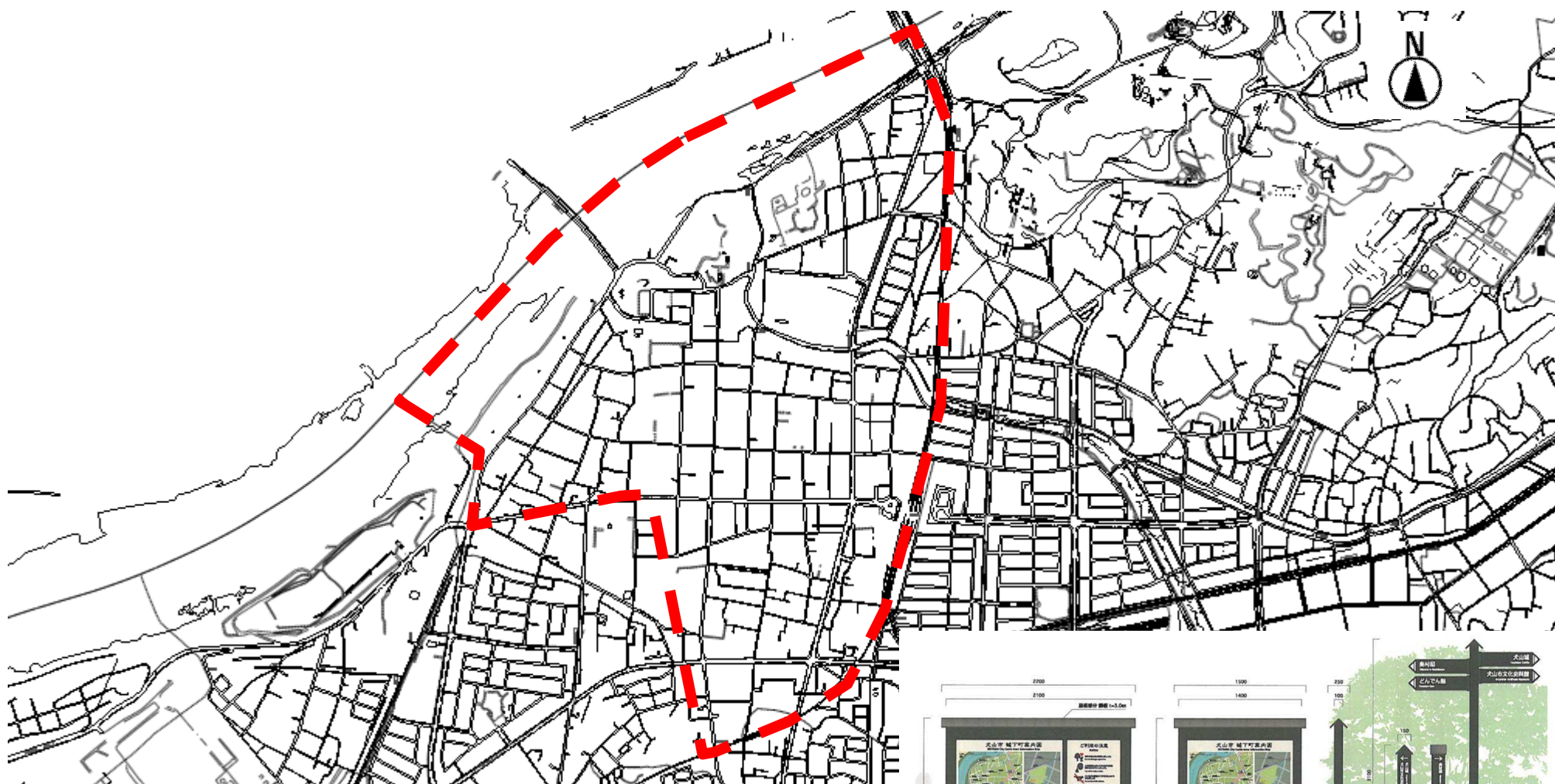
体育館跡地広場整備事業



内田観光駐車場整備事業



交通誘導サイン設置事業

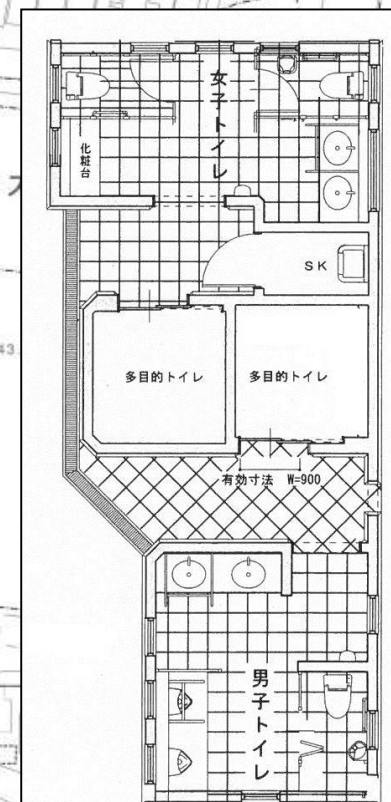


高質空間形成施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、ストリートファニチャー・モニュメント等)								
電線類地下埋設施設								
電柱電線類移設								
地域冷暖房施設						—	—	
歩行支援施設、障害者誘導施設等	丸の内多目的公衆便所	犬山市	45㎡	20			20	
合計	—	—	—	20			20	

丸の内多目的公衆便所整備事業



交付要綱附属第Ⅲ編10-(1)-1の 4)式適用確認シート【歴史的風致維持向上計画】

【様式9】

(百万円)

基幹事業費(a)	961.0
提案事業費(b)	0.0

歴史的風致維持向上計画の重点区域の名称
犬山市歴史的風致維持向上地区

市町村名: 犬山市
地区名: 犬山市歴史的風致維持向上地区

歴史的風致維持向上計画の認定日	都市再生整備計画の着手予定日
平成21年3月11日	平成26年3月31日

※認定日の属する年度の翌年度から起算して3年以内に
都市再生整備計画事業に着手することを確認。
※H30年度末までに都市再生整備計画事業に着手する地区に限る。

① 都市再生整備計画の区域が認定歴史的風致維持向上計画の重点区域に含まれていることの確認

都市再生整備計画の区域面積	180(ha)	重複部分の面積	180(ha)
歴史的風致維持向上計画の重点区域面積	180(ha)		

※重複部分の面積が都市再生整備計画の区域面積と同じであることを確認。(経過措置地区はこの限りではない。)

②-1 都市再生整備計画の主たる事業が認定歴史的風致維持向上計画に位置付けられていることの確認

都市再生整備計画の主たる事業の事業名	歴史的風致維持向上計画での記載箇所	
	事業名	ページ
内田多目的広場整備事業	防災公園・観光駐車場等整備事業	107
内田観光駐車場整備事業	防災公園・観光駐車場等整備事業	107
道路改良事業(市道犬山31号線外1路線)	防災公園・観光駐車場等整備事業	107

※経過措置地区については都市再生整備計画の主たる事業が4)式の適用対象事業であるか確認

②-2 都市再生整備計画のすべての事業が認定歴史的風致維持向上計画の歴史的風致の維持及び向上に関する方針に適合するものであることの確認

歴史的風致の維持及び向上に関する方針	左記の方針に適合する都市再生整備計画の事業名	歴史的風致維持向上計画での記載の有無(有の場合はページ)	方針に適合する理由 (維持向上計画に記載がない場合のみ、整備計画の事業が、歴史的風致の維持及び向上に関する方針に適合する理由を簡潔に記入)
ア. 文化財保護法に基づく継続的な取り組みと資源の活用			
イ. まちづくりと連携した歴史的施設及び公共施設の保全	交通誘導サイン設置事業		地域内の回遊性向上による歴史まちづくりを推進する事業であるため方針に適合
	体育館跡地広場整備事業		地域内の回遊性向上による歴史まちづくりを推進する事業であるため方針に適合
	丸の内多目的公衆便所整備事業		地域内の回遊性向上による歴史まちづくりを推進する事業であるため方針に適合
ウ. 市民意識の向上と、歴史文化を継承する担い手の育成			
エ. 歴史的資源の新たな価値付け			
オ. 文化施設の充実			

※都市再生整備計画の全ての事業が上記に該当しているか確認すること。(経過措置地区については4)式の適用対象事業が上記に網羅されているか確認)

※ 都市再生整備計画の区域、歴史的風致維持向上計画の重点区域及び重複する部分を明確にしてください。(経過指定地区は、4)式の適用対象事業が歴史的風致維持向上計画の区域内にあることを明確にしてください。)

※ 都市再生整備計画の区域、歴史的風致維持向上計画の重点区域及び里復興の部分（**経通指直地区は、4）式の適用対象事業が歴史的風致維持向上計画の区域内にあることを明確にしてください。**）

※ 本シートに認定歴史的風致維持向上計画等の写しを添付して下さい。

犬山市の維持向上すべき歴史的風致

針綱神社の例祭として犬山城下13町内から車山が出されて行われる車山行事では、町衆らによって、車山の組立てから曳き回し、からくり奉納、解体保管を始め、からくりとお囃子の練習や夏の懸装幕の虫干しなど、一年を通じた運営が行われる。

370余年もの長い年月の間、町衆らにより大切に守り伝えられてきた犬山祭の祭礼儀式（重要無形民俗文化財）と、その背景または舞台となっている国宝犬山城や城下町の歴史的な町並みが今なお一体となって残り受け継がれている光景が、犬山を代表する歴史的風致といえる。



■ 国宝犬山城と名勝木曾川



■ 車山とどんでん



■ 城下町と町家



■ お囃子の演奏とその練習



■ からくり奉納



■ 金襴袈と練り物



■ 車山蔵と車山の組立て

犬山市歴史的風致維持向上計画
平成21年3月11日認定